



本郷の輝き

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

横浜市立本郷小学校
学校便り 11月号
令和2年10月30日

GIGAスクール構想

教務主任 田治米直人

「この角度がいいな。」「大きさはこれくらいでいいかな。」図工室でタブレットを手に自分の作品を何度も撮影する5年生。眼差しは真剣そのもの。慣れた手つきで機器を操作していました。これは「形が動く絵が動く」という、作品を少しずつ動かしたり形を変えたりしながらタブレットで写真を撮ってアニメーションを作る、今年度より新たに始まった図工の題材です。



文部科学省より「GIGAスクール構想」という1人1台の端末と通信ネットワークを整備する、教育のICT化を推進するための方針が打ち出されました。「GIGA」とは「Global and Innovation Gateway for All」の略で「全ての人にグローバルで革新的な入口を」という意味です。子どもたち一人一人に最適化されたICT環境を実現しようというねらいです。

それを受けて横浜市立小学校でも1人1台のタブレットの整備を進めています。そしてそのタブレットをストレスなく活用するために高速大容量の校内LAN通信ネットワークも整えていきます。同時に授業支援クラウドサービスやWEB会議システム、動画配信の活用など来年度4月の本格運用開始に向けて着々と準備が進んでいます。

子どもの教育環境が時代と共に良くなることは喜ばしいことですが一抹の不安もあります。急激な変化に子どもたちは対応できるだろうか？それを教える大人たちのスキルは？学校や家庭の通信環境は十分？セキュリティーは大丈夫？など様々な課題が頭をよぎります。

5年生の図工の時間。「文字も入れよう。」「音楽もつけちゃおう。」と、教わっていないのにタブレットの機能を使って作品をどんどん豊かにしていく子どもたちの姿。大人の想像よりもはるかに早く新しい技術に適応しています。そんな状況を目の当たりにすると、子どもが変化に対応できるかという心配よりも、いかに安全で快適な環境を作っていくか、子どもと同じレベルで使えるスキルを身につけられるかという大人サイドの課題に身が引き締まる思いでした。時代の変化に適応できるように職員に対する研修も始まっています。